

令和 3 年度 第 3 回 学校運営協議会記録

	学校名	払戸小学校
開催日時	9月30日(月) 17時30分～18時30分	
出席者	委員：佐々木有幸 海道利夫 戸部正行 吉田重繁 仲塚鈴香 伊藤睦子 泉裕樹 校長：一関隆則 教頭：長谷川礼 教務主任：近藤	
協議内容	<p>1 会長あいさつ</p> <p>市のCS情報交換会に参加した。船越小への統合が迫っていることを改めて認識した。現在の活動が有意義なものになるように考えなければならない。</p> <p>2 校長あいさつ</p> <p>3 協議・情報交換</p> <p>(1) 事業の進捗状況について (別紙①)</p> <p>(2) これまでの学校経営について (別紙②)</p> <p>(3) 市CS情報交換会より伝達 男鹿市のコミュニティ・スクールがめざす第2段階(教育長案)を提示</p> <p>(4) 廃品回収について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去3年間の収益について激減していることから事業継続について考える時期に来ていることを説明する。継続するとしたら町内会の協力を得たい旨を伝える。現在のPTA会員は単価の高い新聞を取っている家庭も少ない。それも原因かもしれない。 ・子ども会がコロナのため地区単位で中止としたり、回収しに回らなかったことが原因ではないか。 ・各家庭の玄関先にまで回収しに行っていた頃はよく集まっていた。「小学校や集会所に持ってきて。」では集まらないだろう。新聞紙も毎週市が回収している。溜めておくのも大変だろう。 ・PTAがやると決めたら継続できるのではないか。 ・今年度中に事業継続するかどうかについて決めたい。 <p>(5) 子ども110番の家について H29年度の一覧をみてもらい、実情に合わない点を指摘してもらおう。</p>	